

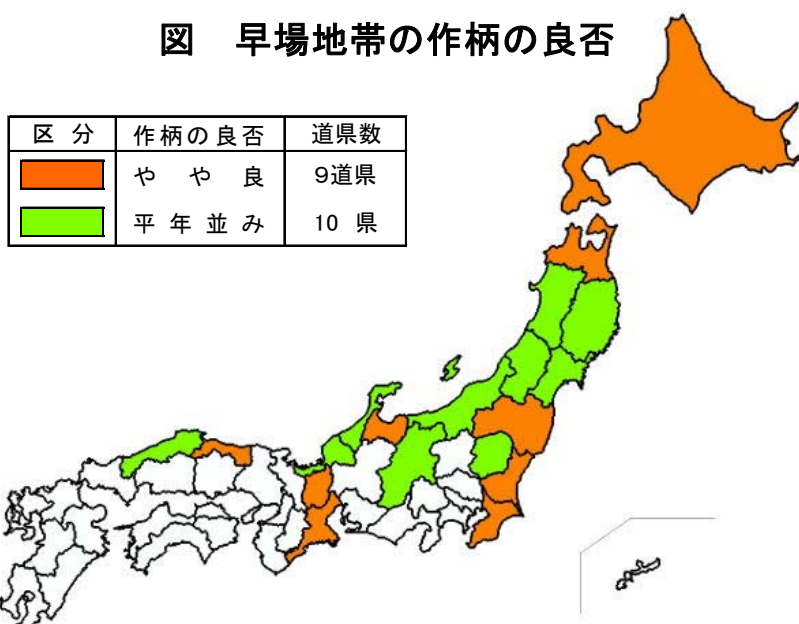
平成25年産水稲の8月15日現在における作柄概況

－ 8月15日現在の早場地帯の作柄は「やや良」ないし「平年並み」の見込み －

【調査結果の概要】

- 1 早場地帯（19道県）の作柄は、「やや良」ないし「平年並み」と見込まれる。
これは、田植期以降、おおむね天候に恵まれていることから、全もみ数が平年並みないしやや多いと見込まれ、登熟も順調に推移しているの見込まれるためである。
- 2 遅場地帯（沖縄県（第二期稲）を除く27都府県）の生育は、6月が日照不足傾向であったものの、その後はおおむね天候に恵まれていることから、「やや良」ないし「平年並み」で推移している。

図 早場地帯の作柄の良否



注：1 地図上の白抜きの都府県は、遅場地帯を表す。
2 作柄の良否の表示区分は、「やや良」が作況指数105～102に、「平年並み」が101～99に相当する。

- 早場地帯とは、8月15日現在の出穂済面積割合が平年ベースでおおむね8割以上を占める19道県である。（平成24年産作付面積割合：66.4%）
- 遅場地帯とは、早場地帯の道県以外の都府県である。（平成24年産作付面積割合：32.0%）
- 遅場地帯の水稲のうち、早期栽培の面積割合がおおむね3割以上を占める徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県における早期栽培並びに沖縄県の第一期稲は、西南暖地における早期栽培等として別に集計している。（平成24年産作付面積割合：1.7%）
- 作柄は、その後の気象が平年並みに推移するものとして予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

この統計調査結果の統計表は、政府統計の総合窓口（e-Stat）の「統計データ新着情報」で御覧いただけます。
【 <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do> 】

◎ 水稻調査結果の利活用

- ・ 主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律（平成6年法律第113号）に基づき毎年定めることとされている米穀の需給及び価格の安定に関する基本指針及び米穀の需給見通しのための資料
- ・ 食料・農業・農村基本計画における生産数量目標の策定及び達成状況検証のための資料
- ・ 農業災害補償法（昭和22年法律第185号）に基づく農作物共済事業における共済基準収穫量算定のための資料 等

◎ 累年データ

水陸稲（子実用）の年次別推移（全国）

年産	水陸稲計		水稲						
	作付面積 (子実用)	収穫量 (子実用)	作付面積 (子実用)	10aあたり 収 穫 量	収 穫 量 (子実用)	参 考			作況指数
						主食用 作付面積	収 穫 量 (主食用)	10aあたり 平年収量	
	ha	t	ha	kg	t	ha	t	kg	
昭和58年産	2,273,000	10,366,000	2,246,000	459	10,308,000	…	…	478	96
59	2,315,000	11,878,000	2,290,000	517	11,832,000	…	…	479	108
60	2,342,000	11,662,000	2,318,000	501	11,613,000	…	…	481	104
61	2,303,000	11,647,000	2,280,000	508	11,592,000	…	…	484	105
62	2,146,000	10,627,000	2,123,000	498	10,571,000	…	…	487	102
63	2,110,000	9,935,000	2,087,000	474	9,888,000	…	…	490	97
平成元	2,097,000	10,347,000	2,076,000	496	10,297,000	…	…	492	101
2	2,074,000	10,499,000	2,055,000	509	10,463,000	…	…	494	103
3	2,049,000	9,604,000	2,033,000	470	9,565,000	…	…	497	95
4	2,106,000	10,573,000	2,092,000	504	10,546,000	…	…	498	101
5	2,139,000	7,834,000	2,127,000	367	7,811,000	…	…	499	74
6	2,212,000	11,981,000	2,200,000	544	11,961,000	…	…	499	109
7	2,118,000	10,748,000	2,106,000	509	10,724,000	…	…	501	102
8	1,977,000	10,344,000	1,967,000	525	10,328,000	…	…	502	105
9	1,953,000	10,025,000	1,944,000	515	10,004,000	…	…	504	102
10	1,801,000	8,960,000	1,793,000	499	8,939,000	…	…	507	98
11	1,788,000	9,175,000	1,780,000	515	9,159,000	…	…	512	101
12	1,770,000	9,490,000	1,763,000	537	9,472,000	…	…	518	104
13	1,706,000	9,057,000	1,700,000	532	9,048,000	…	…	518	103
14	1,688,000	8,889,000	1,683,000	527	8,876,000	…	…	522	101
15	1,665,000	7,792,000	1,660,000	469	7,779,000	…	…	524	90
16	1,701,000	8,730,000	1,697,000	514	8,721,000	…	…	525	98
17	1,706,000	9,074,000	1,702,000	532	9,062,000	…	…	527	101
18	1,688,000	8,556,000	1,684,000	507	8,546,000	…	…	529	96
19	1,673,000	8,714,000	1,669,000	522	8,705,000	…	…	529	99
20	1,627,000	8,823,000	1,624,000	543	8,815,000	1,596,000	8,658,000	530	102
21	1,624,000	8,474,000	1,621,000	522	8,466,000	1,592,000	8,309,000	530	98
22	1,628,000	8,483,000	1,625,000	522	8,478,000	1,580,000	8,239,000	530	98
23	1,576,000	8,402,000	1,574,000	533	8,397,000	1,526,000	8,133,000	530	101
24	1,581,000	8,523,000	1,579,000	540	8,519,000	1,524,000	8,210,000	530	102

資料：農林水産省大臣官房統計部『作物統計』

- 注：1 作付面積（子実用）とは、青刈り用の面積を除いた面積である。
 2 主食用作付面積とは、水稲作付面積（青刈り面積を含む。）から、需給調整の取組として取り扱う米穀等（備蓄米、加工用米、新規需要米等）の作付面積を除いた面積である。
 3 「…」は、事実不詳又は調査を欠くことを示している。

【統計表】

1 平成25年産水稻の都道府県別田植及び出穂の状況（8月15日現在）

都道府県	田植期					出穂期					出穂済面積割合	
	始期	最盛期	終期	最盛期の比較		始期	最盛期	終期	最盛期の比較		当年値	対平年差
				対平年	対前年				対平年	対前年		
	月 日	月 日	月 日	日 遅	日 遅	月 日	月 日	月 日	日 早	日 早	%	ポイント
北海道	5. 24	5. 29	6. 4	3日遅	2日遅	7. 23	7. 28	8. 4	4日早	4日早	100	0
青森	5. 19	5. 24	5. 31	4日遅	2日遅	8. 3	8. 6	8. 11	1日早	2日早	100	2
岩手	5. 13	5. 19	5. 25	2日遅	1日遅	8. 4	8. 8	8. 14	1日遅	1日遅	100	1
宮城	5. 4	5. 12	5. 23	並み	並み	8. 3	8. 6	8. 14	並み	並み	97	△ 2
秋田	5. 17	5. 24	6. 2	3日遅	1日遅	8. 1	8. 4	8. 11	2日早	1日早	100	0
山形	5. 16	5. 21	5. 28	2日遅	1日遅	8. 3	8. 7	8. 14	1日早	並み	98	1
福島	5. 10	5. 18	5. 26	2日遅	並み	8. 3	8. 10	...	2日早	1日早	93	7
茨城	4. 29	5. 6	5. 23	1日早	1日早	7. 19	7. 31	8. 11	3日早	3日早	97	1
栃木	5. 1	5. 7	6. 15	並み	並み	7. 26	8. 2	...	3日早	2日早	88	1
群馬	5. 23	6. 14	6. 27	並み	1日早	8. 9	38	6
埼玉	4. 28	5. 22	6. 28	並み	並み	7. 24	8. 11	...	2日早	2日早	63	4
千葉	4. 18	4. 28	5. 7	並み	並み	7. 15	7. 24	8. 3	4日早	3日早	100	0
東京都	6. 1	6. 16	6. 29	3日遅	2日遅	8. 8	8. 13	...	3日早	5日早	55	1
神奈川県	5. 19	6. 1	6. 13	1日早	1日遅	8. 3	8. 12	...	1日早	2日早	81	11
新潟	5. 5	5. 12	5. 22	1日遅	1日早	7. 26	8. 6	8. 13	2日早	1日早	98	2
富山	5. 3	5. 12	5. 20	1日早	並み	7. 16	7. 31	8. 9	5日早	3日早	100	1
石川	5. 1	5. 5	5. 22	並み	並み	7. 17	7. 29	8. 8	4日早	2日早	100	2
福井	4. 29	5. 16	5. 26	3日遅	並み	7. 12	8. 2	8. 12	並み	1日早	98	0
山梨	5. 14	5. 30	6. 18	並み	並み	8. 2	8. 9	...	4日早	3日早	76	7
長野	5. 12	5. 22	6. 2	1日遅	1日遅	7. 30	8. 7	8. 14	2日早	1日早	95	5
岐阜	5. 2	5. 27	6. 9	並み	並み	7. 21	49	0
静岡県	4. 22	5. 20	6. 10	2日早	2日早	7. 18	8. 9	...	3日早	4日早	66	6
愛知県	4. 30	5. 23	6. 9	並み	並み	7. 22	46	4
三重	4. 17	5. 2	5. 20	2日遅	1日遅	7. 16	7. 22	8. 10	4日早	6日早	97	△ 1
滋賀	5. 3	5. 10	5. 25	並み	2日早	7. 27	8. 1	...	3日早	5日早	94	8
京都	5. 5	5. 23	6. 6	1日遅	2日遅	7. 25	8. 3	...	4日早	2日早	81	2
大阪	5. 20	6. 9	6. 19	2日遅	1日遅	8. 3	27	1
兵庫県	5. 12	6. 4	6. 15	1日遅	1日遅	7. 29	8. 12	...	1日早	2日早	63	△ 1
奈良	5. 6	6. 8	6. 15	1日遅	1日遅	7. 30	30	0
和歌山	5. 3	6. 4	6. 17	並み	並み	7. 19	8. 7	...	1日早	2日早	86	2
鳥取	5. 7	5. 26	6. 6	2日遅	2日遅	7. 26	8. 4	...	4日早	2日早	87	4
島根	5. 5	5. 15	5. 31	並み	2日遅	7. 20	8. 1	...	4日早	2日早	92	8
岡山	5. 15	6. 9	6. 20	2日遅	並み	7. 23	42	1
広島	5. 4	5. 18	6. 5	1日早	並み	7. 22	8. 5	...	5日早	3日早	74	4
山口	5. 11	5. 30	6. 19	1日早	並み	7. 29	8. 8	...	2日早	並み	67	3
徳島 (早期栽培)	4. 8	4. 18	5. 3	並み	並み	7. 8	7. 16	7. 25	1日早	2日早	100	0
徳島 (普通栽培)	5. 2	5. 22	6. 15	並み	並み	7. 18	7. 30	...	3日早	2日早	83	0
香川	5. 4	6. 15	6. 25	2日遅	1日遅	7. 20	43	2
愛媛	4. 23	6. 2	6. 22	並み	並み	7. 16	8. 12	...	2日早	2日早	58	3
高知 (早期栽培)	4. 5	4. 12	4. 22	1日遅	並み	6. 30	7. 8	7. 17	並み	並み	100	0
高知 (普通栽培)	5. 18	5. 26	6. 15	2日早	2日早	8. 10	43	27
福岡	5. 17	6. 16	6. 27	1日早	1日早	8. 1	34	3
佐賀	5. 5	6. 19	6. 28	2日早	2日早	7. 20	23	5
長崎	4. 21	6. 15	7. 1	並み	並み	7. 18	15	△ 1
熊本	4. 20	6. 13	7. 1	2日早	1日早	7. 10	26	5
大分	5. 17	6. 13	6. 28	並み	並み	7. 29	21	2
宮崎 (早期栽培)	3. 21	3. 27	4. 5	並み	並み	6. 21	6. 26	7. 3	2日早	1日早	100	0
宮崎 (普通栽培)	6. 2	6. 15	6. 26	2日早	1日早	3	0
鹿児島 (早期栽培)	3. 26	4. 3	4. 14	1日早	1日早	6. 21	6. 26	7. 8	3日早	3日早	100	0
鹿児島 (普通栽培)	6. 12	6. 21	6. 29	並み	1日遅	0	0
沖縄 (第一期稲)	2. 22	3. 4	3. 24	1日遅	5日早	5. 4	5. 21	6. 9	並み	6日早	100	0

注：1 田植期及び出穂期の始期、最盛期、終期とは、田植及び出穂済みの面積割合がそれぞれ5%、50%、95%に達した期日である。
 2 出穂期の「始期」、「最盛期」及び「終期」の欄の「…」は、8月15日現在でそれぞれの期日に達していないことを示す。
 3 出穂済面積割合の対平年差欄の「△」は、平年より少ないことを示す。

2 平成25年産水稻早場地帯の作柄概況（8月15日現在）

区 分	平 年 比 較					
	作柄の良否	穂数の多少	一穂当たりもみ数の多少	全もみ数の多少	登熟の良否	
北海道	やや良	平年並み	やや少ない	平年並み	やや良	
青森	やや良	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	
岩手	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	やや良	
宮城	平年並み	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	
秋田	平年並み	やや少ない	やや多い	やや少ない	平年並み	
山形	平年並み	やや少ない	やや多い	平年並み	平年並み	
福島	やや良	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	
茨城	やや良	平年並み	やや多い	やや多い	やや不良	
栃木	平年並み	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み	
千葉	やや良	平年並み	やや多い	やや多い	平年並み	
新潟	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	
富山	やや良	平年並み	平年並み	平年並み	やや良	
石川	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	
福井	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	
長野	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	平年並み	
三重	やや良	平年並み	やや多い	平年並み	やや良	
滋賀	やや良	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	
鳥取	やや良	やや多い	平年並み	やや多い	平年並み	
島根	平年並み	平年並み	やや多い	平年並み	平年並み	

- 注：1 本表で用いた作柄の良否の表示区分は、「良」が作況指数106以上、「やや良」が105～102、「平年並み」が101～99、「やや不良」が98～95、「不良」が94以下に相当する。
- 2 本表で「穂数の多少」、「一穂当たりもみ数の多少」、「全もみ数の多少」、「登熟の良否」に用いた表示区分は、「多い(良)」が対平年比106%以上、「やや多い(やや良)」が同105～102%、「平年並み」が同101～99%、「やや少ない(やや不良)」が同98～95%、「少ない(不良)」が同94%以下に相当する。
- 3 全国の水稲作付面積に占める早場地帯の割合は、平成24年産で66.4%となっている。

3 平成25年産水稻遅場地帯の生育状況（8月15日現在）

区 分	平 年 比 較		
	生 育 の 良 否	草 丈 の 長 短	茎 数 の 多 少
群 馬	平年並み	平年並み	やや多い
埼 玉	平年並み	やや長い	平年並み
東 京	やや良	やや長い	多 しい
神 奈 川	やや良	やや長い	やや多い
山 梨	平年並み	平年並み	やや多い
岐 阜	平年並み	平年並み	平年並み
静 岡	平年並み	平年並み	平年並み
愛 知	平年並み	平年並み	やや多い
京 都	やや良	平年並み	やや多い
大 阪	やや良	やや長い	やや多い
兵 庫	やや良	平年並み	やや多い
奈 良	やや良	平年並み	多 しい
和 歌 山	平年並み	平年並み	平年並み
岡 山	やや良	平年並み	やや多い
広 島	やや良	平年並み	やや多い
山 口	やや良	やや長い	やや多い
徳 島 (普通栽培)	やや良	やや長い	平年並み
香 川	やや良	やや長い	やや多い
愛 媛	やや良	やや長い	やや多い
高 知 (普通栽培)	平年並み	平年並み	平年並み
福 岡	平年並み	やや長い	平年並み
佐 賀	やや良	やや長い	やや多い
長 崎	平年並み	やや長い	平年並み
熊 本	平年並み	やや長い	平年並み
大 分	やや良	平年並み	やや多い
宮 崎 (普通栽培)	やや良	平年並み	多 しい
鹿 児 島 (普通栽培)	やや良	長 しい	やや多い

注：1 生育状況は、草丈の長短、茎数の多少等の計測結果、生育の遅速、被害の発生状況及び一部のほ場における計測可能な穂数、もみ数等の計測結果等を総合して、8月15日現在における稲体の生育状態を調査したもので、作柄を予測したものではない。

2 全国の水稲作付面積に占める遅場地帯の割合は、平成24年産で32.0%となっている。

4 平成25年産水稻の西南暖地における早期栽培等の作柄概況（8月15日現在）

(1) 10a 当たり予想収量

区 分	10 a 当たり 予想収量 ①	10 a 当たり 平年収量 ②	(参 考)		
			予想収穫量 ③=①×④	作付面積 (子実用、見込み) ④	作 況 指 数 ⑤=①/②
徳 島	468	463	24,700	5,280	101
高 知	473	481	36,200	7,650	98
宮 崎	476	480	38,100	8,000	99
鹿 児 島	461	443	25,300	5,490	104
沖 縄	332	370	1,980	596	90

注：1 沖縄県は第一期稲である（(2)の統計表において同じ。）。

2 全国的水稻作付面積に占める西南暖地における早期栽培等の割合は、平成24年産で1.7%となっている。

3 (参考) 作付面積（子実用、見込み）は、関係機関等からの情報収集により把握した現時点での見込みの面積（参考値）であり、今後変動する可能性がある。

(2) 作柄概況及び刈取済面積割合

区 分	平 年 比 較				刈取済面積割合	
	穂 数 の 多 少	一 穂 当 た り も み 数 の 多 少	全 も み 数 の 多 少	登 熟 の 良 否	当 年 値	対 平 年 差
					%	ポイント
徳 島	少 ない	や や 多 い	や や 少 ない	や や 良	23	11
高 知	少 ない	や や 多 い	少 ない	や や 良	75	10
宮 崎	や や 少 ない	や や 多 い	や や 少 ない	平年並み	100	0
鹿 児 島	少 ない	多 い	や や 少 ない	良	94	2
沖 縄	平年並み	や や 少 ない	や や 少 ない	や や 不 良	100	0

注：1 本表で「穂数の多少」、「一穂当たりもみ数の多少」、「全もみ数の多少」、「登熟の良否」に用いた表示区分は、「多い(良)」が対平年比106%以上、「やや多い(やや良)」が同105~102%、「平年並み」が同101~99%、「やや少ない(やや不良)」が同98~95%、「少ない(不良)」が同94%以下に相当する。

2 刈取済面積割合の対平年差欄の「△」は、平年より少ないことを示す。

【調査の概要】

1 調査の目的

本調査は、作物統計調査の水稲調査の中の作柄概況調査として実施し、水稲の生育・作柄状況を明らかにすることにより、生産対策、需給調整、技術指導等の農政推進のための資料とすることを目的としている。

2 調査の対象

- (1) 調査は、全国の各都道府県を対象に調査を行っている。

区分	調査対象都道府県	備考
早場地帯	北海道、青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県、茨城県、栃木県、千葉県、新潟県、富山県、石川県、福井県、長野県、三重県、滋賀県、鳥取県、島根県	8月15日現在の出穂済面積割合が、平年ベースでおおむね8割以上を占める道県
遅場地帯	早場地帯の道県以外の都府県	

注： 沖縄県の第二期稲については、8月15日現在で田植え前の地域があり、田植期等の判断ができないことから、表記していない。

- (2) なお、早期栽培の面積割合がおおむね3割以上を占める徳島県、高知県、宮崎県及び鹿児島県における早期栽培並びに沖縄県の第一期稲については、西南暖地における早期栽培等として別に集計している。

3 調査対象数

作況標本筆調査:10,248筆 作況基準筆調査:676筆 巡回・見積り:1,720市町村

4 調査事項

は種期の遅速、田植期の遅速、活着の良否、草丈の長短、茎数の多少、穂数の多少、もみ数の多少等の生育状況、登熟状況、被害状況及び耕種状況

5 調査期日

8月15日現在で水稲の生育・作柄概況を調査した。

6 調査方法

調査は、作況標本筆、作況基準筆に対する職員による実測調査及び作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより行った。

7 集計方法

調査事項について、作況標本筆調査結果を集計し、作況基準筆結果に基づく巡回・見積りにより補完して取りまとめている。

8 用語の解説

- (1) 「穂数の多少」とは、1㎡当りに出穂した全ての穂の数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (2) 「1穂当たりもみ数の多少」とは、1穂についている全てのもみの平均数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (3) 「全もみ数の多少」とは、1㎡当たりの全てのもみ数が平年と比較して多いか少ないかを表しており、多い、やや多い、平年並み、やや少ない、少ないの5段階で表している。
- (4) 「登熟の良否」とは、登熟（開花、受精から成熟期までのもみの肥大、充実）が平年と比較して良いか悪いかを表しており、良、やや良、平年並み、やや不良、不良の5段階で表している。
- (5) 前述の平年比較とは、過年次の作況標本筆結果から作成した1㎡当たり穂数等の各収量構成要素の平年値との比較である。

- (6) 「作況指数」とは、10 a 当たり平年収量に対する10 a 当たり予想収量の比率である。
- (7) 「10 a 当たり平年収量」とは、水稻の栽培を開始する以前に、その年の気象の推移や被害の発生状況などを平年並みとみなし、最近の栽培技術の進歩の度合いや作付変動等を考慮し、実収量のすう勢をもとに作成したその年に予想される10 a 当たり収量をいう。

9 利用上の注意

統計数値については、下記の方法で四捨五入している。

原 数		7 桁以上 (100万)	6 桁 (10万)	5 桁 (万)	4 桁 (1,000)	3 桁以下 (100)
四捨五入する桁数 (下から)		3 桁	2 桁		1 桁	四捨五入 しない
例	四捨五入する前 (原数)	1, 234, 567	123, 456	12, 345	1, 234	123
	四捨五入した後 (統計数値)	1, 235, 000	123, 500	12, 300	1, 230	123

10 その他

本調査における作柄概況 (8月15日現在) は、その後の気象が平年並みに推移するものとして作柄予測を行った。したがって、今後の気象条件により作柄は変動することがある。

【ホームページ掲載案内】

○各種農林水産統計調査結果は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。

【 <http://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】

この結果の分野別分類は「作付面積・生産量、被害、家畜の頭数など」、品目別分類は「米」に分類しています。

【関連リンク】

農林水産施策関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞大臣官房の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/kanbo/>

農業生産振興関係ページ：農林水産省＞組織・政策＞生産局の部局別トップへ

<http://www.maff.go.jp/j/seisan/>

— お問合せ先 —

- ◎本統計調査結果について
 農林水産省 大臣官房統計部
 生産流通消費統計課 普通作物統計班
 電話：(代表) 03-3502-8111 内線3682
 (直通) 03-3502-5687
 FAX： 03-5511-8771
- ◎農林水産統計全般について
 農林水産省 大臣官房統計部
 統計企画管理官 広報普及班
 電話：(代表) 03-3502-8111 内線3589
 (直通) 03-6744-2037
 FAX： 03-3501-9644



平成25年11月1日現在で、2013年漁業センサスを実施します。
 (流通加工調査については平成26年1月1日現在)